



**京都市美術館開館90周年記念展**  
**竹内栖鳳—破壊と創造のエネルギー**

と き／10月7日(土)～12月3日(日) 前期：10/7～11/5、後期：11/7～12/3  
 ところ／京都市京セラ美術館 (祝日以外の月曜日休館)  
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4334



《アレタ立に》  
 (前期展示)  
 1909年  
 (高島屋資料館蔵)

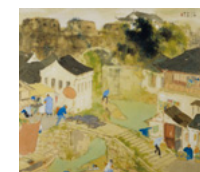


《ベニスの月》  
 (前期展示)  
 1904年  
 (高島屋資料館蔵)

近代京都日本画壇の先駆者として、その半世紀に及ぶ画業を通じて京都日本画の発展の基を築いた巨匠・竹内栖鳳。1900(明治33)年のパリ万博での受賞を機に行った欧州旅行後、ターナーやコロラから強い影響を受けて、旧雅号の棲鳳から西洋の西にちなんだ栖鳳に改めた。1907年の文展開設以来、帝展への移行後も審査員を務め、のちに帝室技芸員、帝国美術院会員となる。京都市立絵画専門学校(現京都市立芸術大学)開設とともに教授に就任、多くの後進を育てた。この間、古い常識を破壊し、新たな地平を創生する圧倒的な求心力で画壇をリードして、近代京都日本画の礎を築いた。本展では、



《闘合》(通期展示)  
 1926年



《南清風色》(前期展示)  
 1926年頃  
 (京都国立近代美術館蔵)

若年時代から円熟期までの画業を、第1章：栖鳳登場・京都画壇の麒麟児、第2章：栖鳳、世界へ・まだ見ぬ美術を求めて、第3章：日本画は一度破壊すべし・新しい時代へ、第4章：躍動する写生、第5章：栖鳳旅に出る・心の風景を探して、第6章：生き物たちの賛歌、の6章だてにより回顧するものである。但し、前期・後期により作品の展示替えがあるので留意していただきたい。

**開館60周年記念**  
**京都画壇の青春**  
 竹内栖鳳、上村松園につづく新世代たち

と き／10月13日(金)～12月10日(日) 10：00AM～6：00PM  
 ところ／京都国立近代美術館 (月曜休館)  
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-764-4111



土田麦僊《島の女》  
 1912年 (京国立近代美術館蔵)



竹内栖鳳《日稼》  
 1917年  
 (東京国立近代美術館蔵)

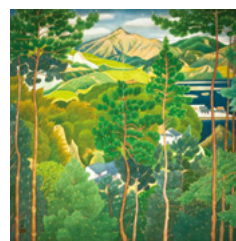


土田麦僊  
 《舞妓林泉》  
 1924年  
 (東京国立近代美術館蔵)

京都の明治以降の美術界の歴史は、東京や西欧との対峙の歴史と言っても過言ではない。特に明治末から初期頃を近代京都画壇の青春時代と捉える京近美の姿勢は、新館開館記念特別展「京都の日本画1910-1930」(1986年)の頃から顕著である。開館60周年記念展の本展においても、大正7(1918)年に創立された国画創作協会に集った俊英、新鋭日本画家の代表作を、土田麦僊を主軸に据えて並べながら、上村松園、菊池契月、木島桜谷といった先輩作家たちや師匠の竹内栖鳳も併せて展観することにより、旧世代・新世代の画家たちが一丸となって、東京、西欧、そして京都の伝統に挑んだ様相を明らかにしようとするものである。青春時代特有の過剰さと繊細さを併せ持つ独特の熱情。完成期とはまた異なる魅力を放つこれらの熱い時代の日本画を堪能していただきたい。



岡本神草《口紅》  
 1918年 (京都市立芸術大学資料館)



小野竹喬《郷土風景》  
 1917年 (京都国立近代美術館蔵)

会場	日曜	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31																																															
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	いけばなの世界展															町のちからⅡ—阪東屋町文書の世界—															→12/17																	
	3F	池大雅展—あるコレクターの視点／近重家王朝のみやび 陽明文庫の名宝13																														→12/3																	
	4F	もしも猫展																														→11/12																	
	5F	徳田嘉孝 作品展	京都大学 写真部OB展					第19回 京都ゾーグ 素敵なニツ展	SKY ふれあい 作品展 2023	京の名工展	選抜 京都墨彩画壇 秋季展	書 十月の会展	絵更紗 美術協会 展																																				
	6F	第42回 葵英展	龍雲会 書展	第39回文化 書道近畿 連合会展																																													
別館	音楽会	音楽会	音楽会	京都アート・ クラフトマーケット 2023	音楽会	音楽会	音楽会	講演会	転生する超絶技巧 大塚オーミ陶業の芸術															→11/5																									
京都学・歴史館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831	【伊藤裕司・竹中浩展 色の美】 休館日：毎月第2水曜(10/11)、祝日(10/9、11/3)																														→11/5																		

会場	日曜	日曜																														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	3F	2023年度 第2回コレクション展										京都画壇の青春－栖鳳、松園につづく新世代たち																				→12/10
	4F	2023年度 第3回コレクション展																														
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151		特別展 東福寺																														→12/3
京都市 京セラ美術館 左京区岡崎公園内 771-4334	コレクション	京都市美術館開館90周年記念展・竹内栖鳳 破壊と創生のエネルギー																									秋季特集 「Tardiologyへの道程」				→12/17	
	本館	第44回美工作品展										第70回日本伝統工芸展 京都展					日本山岳写真協会関西支部展「山の対話」 セラミック・シナジー展					第69回一陽展					→12/3					
		主休展 第58回										第42回 魁書道展					京都写真倶楽部連盟展					第50回 在日朝鮮学生美術展					→11/5					
	東山キューブ	井田幸昌展 Panta Rhei   パンタ・レイー 世界が存在する限り																														→12/3
	別館1F	第8回キルトはうすFu 布作品展										第15回 京都写真倶楽部連盟展					第50回 在日朝鮮学生美術展					MUCA展 ICONS of Urban Art ～バンクシーからカウズまで～					→2024/1/8					
	別館2F	第8回キルトはうすFu 布作品展										第12回 SYOサロン展					第25回 新陶彫 京都展					金和3年 東石区・西京区 秋祭り多1展					→11/5					
京都府立文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	選抜京都現代水墨展 (墨彩画)										ファム展 (美総合)					2023青美・秋季展 (美総合)					京都写真家協会展					→11/5					
	2F	篁会書展										○9 南瓜絵画展 (日本画)					第一美術関西展 (美工総合)					京都自由写壇展 (写真)										
	3F																															
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007		企画展 大好き 印象の動物・鳥・昆虫企画展																														→11/23
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311		生誕140年・和の美を問う 北大路魯山人展 (祝日以外の月曜休館)																														→12/24
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	一依代の襷-福島一二三展 狩俣公介日本画展 -清風郎月-										山本真澄日本画展 -虹の麓には-					近藤高弘展 (陶芸) -火から生まれる水の表象-					中島千波展 -黒の閃光・金の陰翳-					→11/5					
	アートサロン	興名記念 清閑寺空 五代 杉田龍展 新里明士作品展 ~光器を中心に~										三好かがり漆展					安洞雅彦 美濃陶展					國定克彦 作陶展										
	アートサロン	Ten デイレック・ラーセン展										宮里絵美 陶展					五嶋竜也 作陶展					安洞雅彦 美濃陶展						國定克彦 作陶展				
	グランドホール																															
大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	~吉兆の光~ 北澤龍展										還暦記念 歸來窯 佐々木虚室 茶陶展					江副拓郎展 -追想- 堀田武士「存在のすべてを」 発刊記念 挿絵特集					篠原希 作陶展					奥村美佳日本画展 -寄港地-					→11/6
	アートサロン	陶と染めの双美展 上坂紗 (善紗) ×藤本最慶										XINs 蔡詠欣 版画展 夢の中で暮らす					北浩二・光華みつ子・松本貴子 三人展					竹村健の世界					山下孝治展 -MUZORASICA KISSHO-					
	ミュージアム	川瀬巴水 旅と郷愁の風景																														
中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323		羽田家のキモノ (月曜休館)																														→11/6
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277		秋季特別展「並河靖之、その人生観-七宝と親交」 (月曜・木曜休館/祝日の場合は翌日に振替)																														→12/17
泉屋博古館 左京区鹿ヶ谷宮ノ前町24 771-6411		泉屋ビエンナーレ2023 現代鍍金作家×中国古代青銅器										青銅器館特別展示 泉屋博古館×京都市動物園：青銅器になった動物たち																				→12/10
芦屋画廊 KYOTO 左京区 頭町357-8 754-8556	日曜	常設展																														
アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401		五百羅漢色紙展										小川靖弘ろう画展																				→11/12
アートギャラリー 鷹休堂 東山区東山五条上ル西入ル 541-3805		常設展																														
アートスペース 柚 (ゆう) 東山区二条通東山入 090-6916-5353		岡崎昭弘個展 (白日会会員) ~So near~ 油彩・ドローイング (月曜休館)										-文学と美術- (月曜休館) Literature & Art																				
Art Space 癒心庵 長岡京市今里畔町24-8 951-2788		小原古邨展 (毎週火・金曜のみ10:00~16:00 / 完全予約制)																														→11/21
綾小路ギャラリー 武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787		チョークアート展										糸井英之 木版画展					加藤敬 陶展					ジョイ展										
芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613		木版画常設展 (貸画廊受付中)																														
絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137		浮世絵・木版画 新版画常設																														

企: 企画および常設を中心に活動する画廊 貸: 貸画廊



〔今月の展覧会より〕

## 生誕140年・和の美を問う 北大路魯山人展

と き／9月8日(金)～12月24日(日) 10:00AM～6:00PM  
と ころ／何必館・京都現代美術館 (月曜休館 但し9/18、10/9は開館)  
京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311

本年は北大路魯山人生誕140年にあたります。京都上賀茂の社家に生まれ、書家、篆刻家として出発した北大路魯山人(1883-1959)は、陶芸をはじめ書・絵画・漆芸・篆刻・金工など、個性溢れる作品を数多く生み出しました。また、美食の追求からその実践の場として「美食倶楽部」、「星岡茶寮」を創設し当時第一級の政治家や財界人、文化人らが集うサロンとして、その名は全国に広まりました。鎌倉の「星岡窯」で、魯山人自身が使うために生み出された器の美しさは、日本だけでなく、海外でも高く評価されています。

本展では、厳選された作品約100点を、「陶」「書」「茶」「花」「食」の5つのテーマに分け、古材や更紗、根来などと取り合わせ展示いたします。魯山人の作品は、「使う」ことで一層の輝きを放ちます。生涯をかけて日本の美と食を追求した魯山人の「和の美を問う」という、これまでにない充実した展覧会になります。



「つばき鉢」1938年



「呉須花入」1949年

記念出版『和の美を問う 北大路魯山人』 3,500円

## もしも猫展、 猫が人だったら、人が猫だったら

と き／9月23日(土・祝)～11月12日(日) 10:00AM～6:00PM  
と ころ／京都文化博物館 (祝日以外の月曜日と11/10休館)  
京都市中京区三条高倉 ☎075-222-0888

「もしも、うちの猫が人のように話したら？」そんな想像をしたことはありませんか。

人間以外の何かを人間になぞらえることを擬人化という。天保12(1841)年頃から、浮世絵師の歌川国芳は猫を擬人化したり、役者を猫にして作品を次々と発表した。

本展では、猫の擬人化作品と、それらを描いた歌川国芳を主軸に捉えながら、江戸時代の擬人化表現の面白さに着目する。その中で、なぜ国芳作品にかくも惹きつけられるのか、その魅力のありかを探っていく。



歌川国芳「流行猫の曲鞠」  
(個人蔵)



歌川国芳「流行猫の狂言づくし、  
熊谷次郎直実ほか」(個人蔵)



「おこなまつ 猫のたはわれ」  
(個人蔵)



小林幾英「新版猫の勉強」  
(個人蔵)



小林幾英「猫の運動会」  
(個人蔵)



歌川国利「新版猫の玉のり」  
(個人蔵)



「新版玉のり尽」  
(個人蔵)

〔今月の展覧会より〕

## 大平和正「風還元/茶碗」×R・マンゴールド PartⅡ —現代茶碗とミニマルアート・共振—

と き／9月12日(火)～10月15日(日) 12:00～6:00PM

ところ／ギャラリー白川 (月曜と10/1(日)休廊)

京都市東山区祇園下河原上弁天町430-1 ☎075-532-2616

彫刻家・大平和正「現代茶碗」(新作)と、R・マンゴールド(70-80年代版画作品)を展示いたします。

物の本質を最小限に表現し、色や形をシンプルに表わしたアメリカの「ミニマルアート」と、日本の「茶碗」が共振し合う「場」の空気感をご体感ください。

\*Part I は、2019.9/1-16に実施

◇ローバート・マンゴールド Robert Mangold (1937-)  
アメリカの代表的なミニマリズムの作家。平面幾何学を様々な組み合わせることによって平面の可能性を追求。

◇大平和正 Ohira Kazumasa (1943-)  
武蔵野美術大学彫刻科を卒業後、造園設計を手がける。1974年、伊賀に制作の場を移す。日本の風土に根ざした、環境造化という視点で陶、金属、石、作庭等を展開。「巨大な土の球体」を発表後、2018年より現代茶碗を発表。Appleの創設者スティーブ・ジョブズのコレクションにも収蔵されている。



大平和正 風還元/茶碗 ロバート・マンゴールド

## 黒川 彰 夫 展

と き／10月3日(火)～10月22日(日) 11:00AM～7:00PM

ところ／ギャラリーなかむら (月曜休廊)

京都市中京区姉小路通河原町東入 ☎075-231-6632

展覧会に寄せて

風景や室内の情景はそれぞれに、素晴らしい形、明暗のバランスを持ち、その美しい光景は、見るものの心に強い感動を与えてくれます。

その感動的な情景を単純化し、色面に構成し、より明確に表現する制作を進めています。

具象形態は段々に省略され、線と面とに置き換えられ自然の情景をより印象的に構成される画面を求めて模索しています。

今回は、正方形の画面に拘り、その形の中で自然の情景をどう再構築できるかの試みを追求して見ました。

黒川彰夫

この度、6年ぶりにギャラリーなかむらで黒川彰夫展を開催いたします。

ご承知の通り先生は、二科会会員として又長きにわたり京都嵯峨芸術大学で教鞭をとられてきました。

先生の作品は、常に色と形の表現を追い求められ平面的な表現の中にも奥行きと明暗をさわやかに感じさせています。関西画壇の重鎮になられた今も、先生の文章にもあります様に常に新しい試みを追求されています。

今回は、小品も合わせて約20点の作品を展示いたします。川彰夫先生の新しい作品が並ぶギャラリーをぜひお楽しみください。ご来廊をお待ちしております。

ギャラリーなかむら



「序幕2023-10」油彩 100×100cm



—変幻するガラス—

「野田雄一・宙」展

と き／10月12日(木)～10月22日(日) 11:00AM～6:00PM

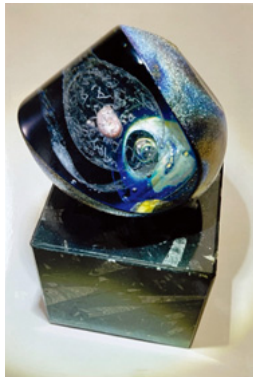
ところ／ギャラリー正観堂(水曜休廊)

京都市東山区切り通西之町211 ☎075-533-4110

平成7年(1995)の夏にガラス作家野田雄一さんの個展を開催しました。野田さんは当時富山ガラス研究所助教授、富山ガラス工場の技術部長という肩書きで、丁度40歳でした。

その作品は今まで見たことのない宇宙的な作品で、宮沢賢治が好きで「銀河鉄道」の世界に憧れていた私は、まさにそこに宇宙が出現したようでしばらく茫然と眺めていたことを思い出します。

野田さんは、若き日に郷里の先達である瀬戸内寂聴師の私塾に一年間通い、山岳宗教に興味を抱き広く修験道の山を歩き、生きる事の意義を探し続けガラスアートの世界にたどり着き38年。自身のもつ独特の感性や人生観から、今までにない新しい哲学をもった作品を生み出して来られました。



「宇宙卵」

今年ガラス工場の館長を退職されるので、記念に何かとお世話になった寂聴さんにご縁があった懐かしい正観堂で記念展を開きたいと突然訪ねて来られました。ガラスアートの第一人者として活躍されている野田雄一・ワールドを是非お楽しみください。

正観堂主人 敬白

野田雄一略歴	1955年 徳島県生まれ	第4回円空賞受賞
	徳島大学工学部中退	北日本新聞文化功労賞
	1981年 「瀬戸内寂聴塾」入門	他多数受賞
	1985年 東京ガラス工芸研究所卒業	
	富山ガラス造形研究所教授	
	富山ガラス工場の館長	

現在 富山ガラス工場のシニアアドバイザーを務める



「天空」

久野隆史展

と き／10月14日(土)～30日(月) 10:30AM～6:30PM

ところ／蔵丘画廊(木曜・金曜 定休)

京都市中京区河原町通り御池西入ル南側 ☎075-255-2232

言うまでもなく絵画の魅力は「絵肌の持つ味わい」「色彩の不思議」「形の妙」などの3要素から感じるものでありましょう。

水で溶く淡泊な素材を自在に使い分け、適度な厚みにより生み出された絵肌による説得力。決して華美過ぎず、しかし単調な渋さに陥らない色遣い。画面構成はまさに日本人が伝統として持つセンスを実感する。

久野氏の魅力をご覧くださいと存じます。

久野隆史略歴

1966年 京都市生まれ

1990年 京都芸術短期大学専攻科修了

1993年より個展およびグループ展多数(以下活動概要)

NEXT展 招待出品(高島屋・京都)／ギャラリー門馬(札幌)／  
ギャラリーマロニエ(京都)／蔵丘画廊個展(京都)／閑々居(東京)／  
カホ・ギャラリー(京都)／京都愛宕神社復元大絵馬制作・奉納

公募展

青垣2001年展(兵庫県)／風龍桜展(岐阜)／ビエンナーレ京都(京都文化博物館)

上野の森美術館大賞展(東京・京都)／京都府美術工芸選抜展(京都文化博物館)

第22回損保ジャパン美術財団選抜奨励展(東郷青児美術館) 等出品



「夜の溜池」4F



「昇陽」SM



「メロン」10.0×14.8cm



「猫」10.0×14.8cm

○展示作品：10数点の水墨による作品と陶器

中国・北京で制作活動を行っているアーティスト 宿利群 (スー・リチュン Su Liqun b.1961) の、日本での2回目の個展を開催いたします。

彼は、西洋の美のエッセンスを東洋の伝統にとり入れた絵画世界を創りあげ、好評を博しているアーティストです。

この個展では彼の繊細な線や色の美しさが際立つ水墨による作品をご覧ください。

中国では陶磁器作品はその伝来と、完品かどうか、という点が最も重視されますが、『割れてしまった壺、皿などの破片やかけらを集め、修復して新たに形作られた陶磁器たち』を描いた彼の作品を見ると、悠久の時の流れに居るような感覚を覚えます。忘れられてゆくもの、完全ではない形のものにロマンを寄せる宿利群の感性に、心惹かれるひとも多いのではないのでしょうか。

この機会に是非ご高覧いただければと思います。

<http://www.sanjyogion.co.jp/>

宿利群 略歴

- 1961年 北京にて生まれる
- 1985年 中央工芸学院工芸美術学部卒業
- 1989年 「宿利群油画作品展」中国美術館 (中国、北京)
- 1995年 Cite internationale des arts (フランス、パリ)にて研修
- 2008年 作品集『宿利群油画』『1982-2008宿利群水墨画』出版
- 2012年 「宿利群水墨作品展」中国現代文学館 (中国、北京)
- 2013年 「敦煌」壁画創作完成、長影旧址博物館 (中国、長春)
- 2016年 「尋真」宿利群個展、今日美術館 (中国、北京)
- 「具象&抽象」芸泰空間 (中国、フフホト)
- 2017年 「中国抽象芸術展」楚上芸術空間 (中国、武漢)
- 「含香体素」宿利群水墨作品展、深圳喬舎画廊 (中国、深圳)、喬舎画廊 (中国、北京)
- 2018年 「宿利群 個展」三条祇園画廊 (日本、京都)
- 2019年 「保利 2019 八人藝術家招聘展」保利藝術學物館 (中国、北京)
- 「含香体素 - 宿利群 水墨作品展」喬社画廊 (中国、北京)
- 2021年 「素筆珠山 - 宿利群絵画展」景德鎮御窯博物館 (中国、景德鎮)
- 北京時間博物館 (中国、北京)



明永染釉里紅鳳紋碗

日下部直起展 ～光の余韻～

と き／10月31日(火)～11月5日(日) 12:00AM～7:00PM  
ところ／ギャラリーヒルゲート  
京都市中京区寺町通三条上ル ☎075-231-3702

この度、ギャラリーヒルゲートにて個展を開催させていただきます。出品作品は200号から小品まで油彩25点、水彩・ドローイング12点の合計37点展示予定です。

イタリアの風景や静物、そしてアーティチョークを通して、時を経ていく中で立ち現れた光のもつ存在感を描いています。

光というのは、消え去った後の余韻の中にこそ劇的な物語を孕んでいると思うのです。余韻は永遠の姿で刻印され、刻を再生していきます。

日下部直起

日下部直起略歴

- 1959年 京都に生まれる
- 1982年 金沢美術工芸大学油絵科卒
- 1987年 二紀展初入選以後毎年
- (’93奨励賞、’96優賞、’97二紀賞、’99同人優賞、’01宮本賞、’02損保ジャパン美術財団奨励賞、’05会員賞、’11会員優賞、’15委員推挙)
- 1995年 東京セントラル美術館油絵大賞展 佳作賞
- 2000年 伊豆美術祭展 (IZUBI) 佳作賞 (’01佳作賞、’02佳作賞)
- 2004年 文化庁藝術家在外研修 (フィレンツェ)
- 2008年 Proposte dal Giappone展 (ミラノ、Galleria Schubert)
- 2009年、12年、18年 個展 (日本橋三越本店)
- 2013年、15年 La luce nel tempo (三人展) (フィレンツェ、Luzart Gallery)
- 2018年 La luce nel tempoⅢ 3人展 (フィレンツェ、Accademia delle Arti del Disegno)
- 2020年 個展 (阪神百貨店梅田本店)
- 2022年 個展 (名古屋栄三越)
- 2023年 個展 (福岡三越)
- 現在 二紀会委員



「光の余韻～ラグーサ」



「逆光の劇」 油彩30号F



企 業 名	会 場	日 曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
			①	月	火	水	木	金	土	①	②	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火
延寿堂ギャラリーソフォラ	中京区二条寺町東入 211-5552	荒賀文成展 (陶芸) (木曜休廊)	中村謙司×竹俣勇彦展 (木曜休廊) 陶×金属												水野幸一× みずのみさ展 陶×硝子					→11/14													
御池画廊	北区小山上総町20-2 492-3083	洋画・日本画常設展 (土日祝休廊)																															
画廊後素堂	中京区新町丸太町下ル 231-0938	貸画廊受付中																															
画廊たづ	東山区神宮道三条西入ル 771-8225	日本画常設展 (日祝休廊)																															
ざおんギャラリー八坂	東山区祇園町南側 525-1717	蒼遊会絵画展 代表 国友哲之輔	古布創作服展 アトリエ和 杉浦和子					サークル「色業」 グループ展 代表 辻井有香					情熱の画家 絵画展 安食玄洋																				
喜聞堂アートスペース余花庵	中京区寺町通御池上ル 212-9793	毛蠶林 毛 (ちやく) 展 「はばかりさん」	初田幸隆 陶展 - 躊躇逡巡の足跡 -					吉島伸一銅島織通 株式会社 本家銅島織通展					第28回 早麻会書展					土屋樹 画展	→11/5														
ギャラリーM	中京区錦葉師高倉西 221-0979	時代祭を描く展 (松本祐佳)																															
ギャラリー花友じゅらくだい	上京区智恵光院中立売上ル 451-6005	遠藤剛照作品常設展 (貸画廊受付中)																															
ギャラリー祇園小舎	東山区四条通繩手東入 551-3828	第18回京陸展	第34回 織と染 in祇園					着物 フリーダム					陸紀の会展																				
ギャラリー吉象堂	中京区三条柳馬場東 221-3955	第41回街道展	第22回同志社大学 スケッチクラブOB展					第13回 RUAえんじ展 立命大美術研究OBOG																									
ギャラリーCreate洛	中京区丸太町通堺町角 708-7898	山口実展 (洋画)	戸狩うた展 (洋画)					光田千代展 (洋画)					奥田輝芳展 (洋画) - ステートメント -					英大 井展	→11/12														
ギャラリー恵風	左京区丸太町東大路東入 771-1011	1F 栗本夏樹 展 (漆)	「描くこと-リトグラフ」 芦川 瑞季、出原司、岸 雪絵、松元悠 水野真緒、宮澤豊子、六根由里香 (月曜休廊)					尖小品展 (19名による日本画)					鶴田憲次・門川昭子 二人展 (平面)						→11/5														
ギャラリー胡々湾	東山区神宮道三条上ル 090-8367-1460	HINA-textile-studio (日程変更の場合あり)												百乃花 (花展)					香奈×かな展 (絵画)					ワイ ヤー	→11/5								
会 場	日 曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
①	月	火	水	木	金	土	①	②	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火			
貸	ギャラリー佐野	貸ギャラリー予約受付中																															
企	ギャラリー三条祇園	スーリチュン 宿利群個展2023																															
企	ギャラリー白川	大平和正「風還元／茶碗」×R・マンゴールドPART II - 現代茶碗とミニマルアート・共振 -																															
貸	ギャラリー翔	HAMAGUCHI& おかよこ二人展 (陶芸・絵画)																															
貸	ギャラリー16	平田洋一 個展 (月曜休)												つきうつし (月曜休) 山西杏奈 (木彫) と山田真美 (版画)																			
貸	ギャラリーSpace妙	伊藤五六遺作展 「時の彩り・追憶の風景」																															
企	ギャラリー創	日本画・洋画・古書画常設展																															
企	ギャラリーTAJIRO	プライベート展示												落合綾香 絵画展																			
企	ギャラリー鉄齋堂	日本画・洋画常設展																															
貸	ギャラリー富小路	休廊																															
企	ギャラリーなかむら	黒川彰夫展 (洋画) (月曜休廊)												展 中原史 雄																			→11/19

【他所で見たい展覧会】

- 「芭蕉布・人間国宝・平良敏子喜如嘉の手仕事」展：9月9日(土)～10月29日(日) 美術館「えき」KYOTO (京都市下京区JR京都伊勢丹7階隣接 ☎075-352-1111)
- 「生誕270年 長沢芦雪、奇想の旅、天才絵師の全貌」展：10月7日(土)～12月3日(日) 大阪中之島美術館 (大阪市北区中之島4-3-1 ☎06-6479-0550)
- 「千年の秘仏と近江情景」展・「みかたの多い美術館展」：10月7日(土)～11月19日(日) 滋賀県立美術館 (大津市瀬田南大萱町1740-1 ☎077-543-2111)
- 「愛し、恋し、江戸絵画-若冲・北斎・江戸琳派」展：9月5日(火)～11月5日(日) 細見美術館 (京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 ☎075-752-5555)
- 「安野光雅展：9月16日(土)～11月12日(日) あべのハルカス美術館 (大阪市阿倍区天王寺駅すぐ ☎06-4399-9050)
- 「イタリア・ボロニア国際絵本原画展：8月19日(火)～10月9日(月・祝) 西宮市大谷記念美術館 (兵庫県西宮市中浜町4-38 ☎0771-68-0081)
- 「Yokoo in WanderLand-横尾忠則の不思議の国」：9月16日(土)～12月24日(日) 横尾忠則現代美術館 (神戸市灘区原通3-8-30 ☎078-855-5607)
- 「竹久夢二のすべて、画家は詩人でデザイナー」展：7月14日(金)～10月9日(月) 福田美術館 (京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16 ☎075-863-0606)
- 「Perfume COSTUME Museum」展：9月9日(土)～11月26日(日) 兵庫県立美術館 (神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 ☎078-262-1011)
- 「秋季企画展、若冲と応挙、第1期」展：9月10日(日)～11月12日(日) 相国寺承天閣美術館 (京都市上京区今出川通丸東入 ☎075-231-0301)
- 「南海の光を描く、原勝四郎展」：10月7日(土)～12月3日(日) 和歌山県立近代美術館／田辺市立美術館 (和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690)
- 「仮面芸能の系譜-仮面芸能のふるさと奈良-」展：9月30日(土)～11月12日(日) 奈良県立美術館 (奈良市登大路町10-6 ☎0742-23-3968)

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31										
会場		日曜	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火										
企	ギャラリー白梅園 北区北野上白梅町63 461-0427	白崎信子ガラス作品常設展																																									
貸企	ギャラリーヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F 中川妙子展 (ミクストメディア)	池田知嘉子展 (創画会准会員)					三橋 卓展 (日本画)					上岡真志展 (新制作協会会員)					日下龍直 起展	→11/5																								
貸企	奥庭 空間	RUST HUMAN 木村 舜展 (月曜休廊)																												→12/24													
企	ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	日本画常設展 (月曜定休)																																									
貸企	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F 荒川尚也 (ガラス)	荒川尚也 (ガラス)					岩井まどか (型染)					滝本ユサ (立体)					山本ハヤシ Kobayashi Atsushi 滝本ユサ 成瀬直人	→11/5																								
貸企	川上 方三	4F 伊賀上空見子 (陶芸)	伊賀上空見子 (陶芸)					ブルース・オズボーン 「親子写真」(写真)					ブルース・オズボーン 「親子写真」(写真)					→11/5																									
貸企	5F シマゾヨウ (木彫)																													→11/5													
貸企	ギャラリー八坂茶閑 東山区八坂通り小松町565 080-1155-0710	佐藤愛子作品展 北緯42度室蘭から					備前 松井宏 陶展																																				
貸企	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	装展 (月曜休廊)										アトリエ季 風間紀子 (オリジナルウェア)・陣七海 (帯地バック)																		→11/5													
貸企	ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	「坂本龍馬と酢屋」常設展																																									
企	ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	常設展 (水曜休廊)					休廊					野田雄一ガラス作品展 (水曜休廊)					休廊					桐村茜版画展 (水曜休廊)					→11/5																
企	ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321																																										
貸企	ギャラリー百音 (もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	秋を楽しむ器 アラカルト (秋冬に向けたテーブルウェアのご紹介) (月曜休廊・祝日営業 振替無し)																																									
貸企	京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸画廊受付中																																									
企	京都芸大ギャラリーアーク 中京区御池通堀川東入 253-1509	SPECIAL EXHIBITIONS still moving final: うつしのまなざし 学長室壁画引越しプロジェクト (第2期) 京都市立芸術大学移転記念事業																												→11/12													
企	京都芸術センター 中京区室町錦薬師下ル 213-1000	サムソン・ヤン「The World Falls Apart Into Facts」 KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2023																																									
企	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	きらめきはぐくむ 京都の学校と伝統工芸 (水曜休館) - 西陣織・京友禊・京焼 -										常設展																		→11/1													
会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31										
会場		日曜	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火										
貸企	京都写真美術館 東山区神宮道三条上ル 746-2931	1F 「月」	清永安雄 写真展「Paris Sketch -regrowth-」																												→11/5												
貸企	2F 「雪」	写真 止孝	Mnuel Buylla 写真展「Tauromaquia」					杉浦正和・榊原齋・松本コウシ 写真展 「DUBIOUS」										滝尾新也 写真展	→11/12																								
企	京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F	京焼作品の常設展示																																								
貸企	2F	昭阿弥の仕事展 (木曜休館) Kiyomizuyaki inherited style					茶の湯道具展 (仮) (木曜休館)					第66回京陶人形展 (木曜休館)										→11/8																					
貸企	京都万葉ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902	文化 芸術 交流 拠点 地区	開催期間・開催時間は変更になる可能性があります。 最新の情報は当館HPにてご確認ください。	京都市退職校團長会 北・上京・左京支部 合同作品展					(仮) あ〜とてい ちゃ〜展										第66回 京陶人形 展	→11/5																							
貸企	堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	筆随心畫 山翁書畫展					休廊					アキフミキング展 「楽園」					休廊					ハレルヤ 羊飼の服					休廊					橋本明子 日本画展					休廊					中尾新也 個展	→11/5
貸企	里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423	貸画廊受付中																																									
企	蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232	久野隆史展 (木・金定休)																																									
企	大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388	常設展					嘴矢祭 - 其之百二十七 - 京都 絵美 展 絵画のまなざし										常設展																										
企	玉山名史刀 東山区三条通神宮道西入 708-8210	常設展/美術刀剣・刀装具・兜・鎧など武具全般																																									
企	梅軒画廊 中京区烏丸四条上ル 221-3510	青木香織個展 「小さき花の夢」					日本画・洋画 常設展																																				
企	星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	明治・大正・昭和名作発掘品展 (日・月休廊)																																									

【京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中】1年間¥2,000円です。毎月末にお手許に届けられます。申込みは星野画廊(☎771-3670)まで振込用紙をご請求ください。  
【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内(☎222-0895) <http://www.kyoto-art.net/>